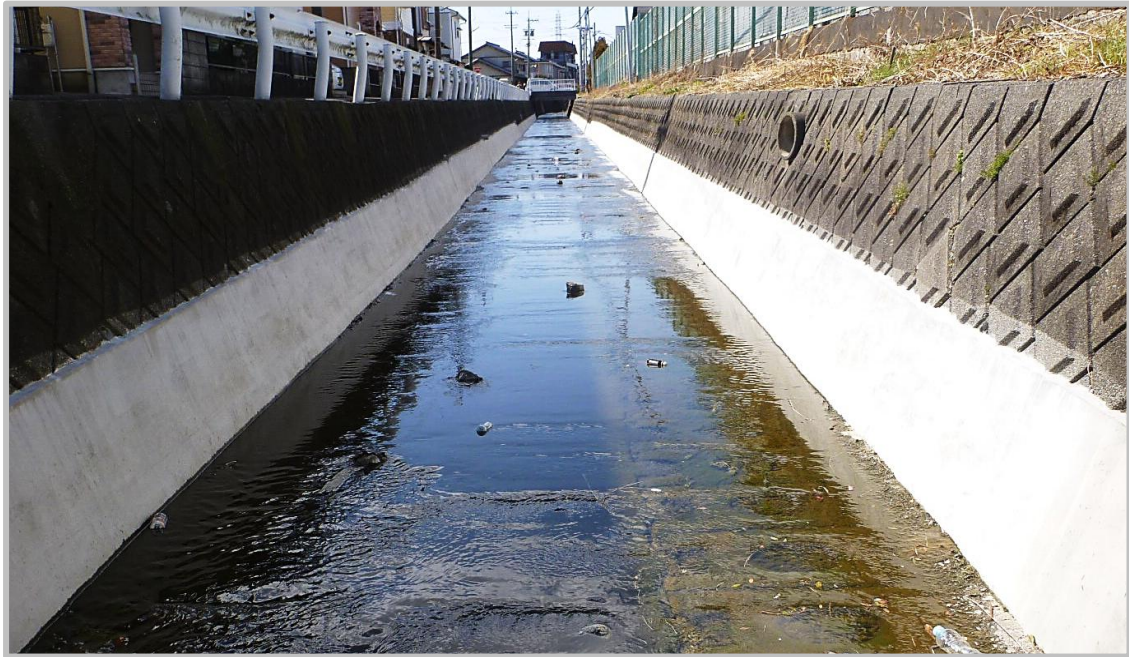


複数微細ひび割れ型繊維補修セメント複合材料による構造物補修 ASモルタルD工法(高靱性)



ASモルタルD工法(高靱性)は、一軸引張応力化において疑似ひずみ硬化特性を示し、微細で高密度の複数ひび割れを形成する高靱性材料【複数微細ひび割れ型繊維補強セメント複合材料:HPFRCC】である『ASモルタルD』を用い、劣化構造物の表面保護を行うことで、構造物の機能を回復させる工法です。優れた接着性で既存構造物と一体化し、耐摩耗性や水密性に優れコンクリート構造物を劣化要因から守ります。

特殊繊維の混入により引張力を分散させ、ひび割れ幅を微細に抑えることで引張変形力に対して高い靱性を示します。

ASモルタルD工法(高靱性)の特性

- ① 高靱性を有しており、引張力を分散し、発生ひび割れ幅を微細に抑えます。
- ② 高い曲げ強度を有し、ひび割れ抵抗性に優れています。
- ③ 既存構造物との一体化(接着性)に優れています。
- ④ 透水量が少なく、防水性に優れた材料です。
- ⑤ 水流や砂礫による摩耗に対する抵抗性に優れています。
- ⑥ プレミックス材料である為、水と混練りするだけで、「左官」・「吹付」の双方で施工が可能です。

ASモルタルD(高靱性)の物性及び配合

物性値一覧

項 目	特性値	項 目	特性値
圧縮強度	36.6N/mm ²	長さ変化率	0.0466%
曲げ強度	10.2N/mm ²	粗度係数	0.0107
付着強度	2.0N/mm ²	凍結融解抵抗性	86%
曲げ靱性係数	3.59N/mm ²	一軸引張終局ひずみ	0.82%

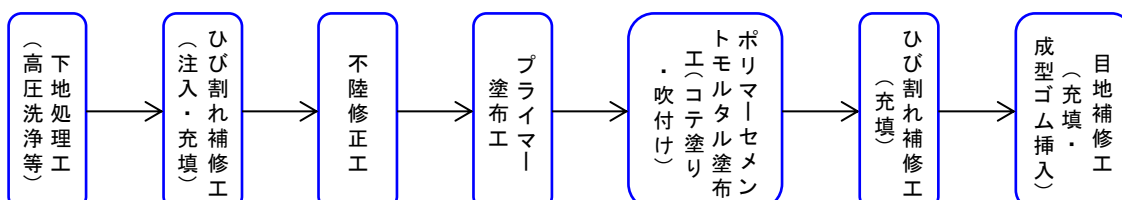
※上記の値は、試験結果の代表値であり、品質保証値および規格値ではありません。

配合

1バッチ	
ASモルタルD 20kg/袋	練り上がり量 約11.9ℓ
水 3.6～4.0ℓ	

※使用量：1,680kg/m³

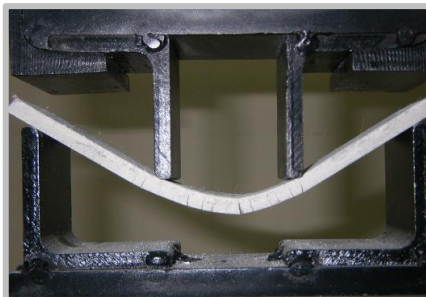
ASモルタルD工法(高靱性) 施工フロー



ASモルタルD工法(高靱性)の「靱性」とは



特殊繊維を配合



曲げに対して追従（割れない&ひび割れの分散）



ASモルタルD工法(高靱性)の施工



この内容は2026年6月現在のものです

(事務局)

ペルテクス株式会社

〒102-0083 東京都千代田区麹町5-1

TEL : (03)3556-2804 FAX : (03)3263-2005

URL : <https://www.infra-mainte.jp>

インフラ保全技術協会

Association of Maintenance Technology for Infrastructure